

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者：横山泰一

1. 計画の概要

歩行名称にはブロック名（会則に記載）と概略歩行区間を記載する。

歩行名称	東関東ブロック（房総短期歩行）
計画区間詳細	スタート地点：安房鴨川駅 ゴール地点：千倉駅
実施期間	4月1日（土曜）— 2日（日曜）
概算歩行距離	約28Km

2. メンバー表（メンバーの詳細情報は別紙に示すが、ホームページ等には載せない）

No	役割・分担	氏名	ワゲル期	備考（ワゲルとの関係等）
1	リーダー	山崎 隆	17期	
2	サブリーダー	住山 茂	12期	
3	記録	横山泰一	13期	
4		横山弥生	13期	
5		稲葉勝利	12期	
6		甲田征三	12期	
7		甲田みつえ		奥様
8		尾崎正彦	4期	
9		江守善昭	5期	
10		山田昭正	（12期）	OPUWVOB9期
11		芳森佳子	（18期）	OPUWVOG15期
12		水津まきこ		TMUOG 同窓会役員
13				
14				

3. 歩行の概要

	月日	出発地～到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	4/1	安房鴨川駅～民宿花の宿安田	15 km	12名（メンバー表の通り）	
2	4/2	民宿花の宿安田～千倉駅	13 km	同上	

4. 参加費

参加者延べ日数 24

参加費合計 2,400 円

5. 歩行の詳細

4月1日

10時55分 JR安房鴨川駅（東口）集合

11時10分 出発 小雨の中を駅前通りから海岸沿いの道を歩く。

11時45分 鴨川漁港を通過

海沿いは風が強く、寒かった。巖島神社弁財天へ寄ってから県道 247 号線を歩く。



安房鴨川駅で



駅前商店街を歩く



海岸通りを歩く



巖島神社弁財天へ

12 時 20 分 鴨川松島

13 時 仁右衛門島への分岐少し手前のまる子食堂で昼食

13 時 30 分 出発

太海フラワーから外房黒潮ライン(国道 128 号線)を歩く。

14 時 15 分 道の駅鴨川オーシャンパーク

14 時 35 分 出発

15 時 05 分 江見漁港通過し、堤防沿いの道へ入る。



鴨川松島



江見海岸の堤防上を歩く

15 時 50 分 童謡作家鹿島鳴秋の浜千鳥の歌碑

鳴秋は和田町に一時期住み、ここ和田浦海岸をこよなく愛したそうです。



鹿島鳴秋の浜千鳥の歌碑へ向かう



歌碑

再び外房黒潮ラインを歩くと「くじら家」があった。ここ和田浦は関東唯一の沿岸捕鯨が行われているところで、年間36頭のツチクジラの捕獲が認められているそうです。夕食と朝食にはクジラ肉が出された。



覗いてみたかったが、素通りした。
16時30分 花の宿 安田に到着



花の広場公園花夢花夢



撮影：横山弥生



写真提供：住山さん



宴会では浜千鳥の歌などで盛り上がりました。料理写真の中央がくじらの竜田揚げです。

4月2日(日)

9時00分出発

晴れ、少し風が強い。宿から国道128号に戻り、すぐに海岸沿いの道へ入る。日曜日とあって海岸はサーファーでにぎわっていた。



出発前の記念写真



和田浦海水浴場でサーフィンを楽しむ人々



サーファーを眺めながら歩く

9時20分 和田漁港

ひじきの加工作業をしている人たちに会った。ひじきの加工工程は伊勢方式と房総方式とがあり、伊勢方式は採取したひじきを加熱前に一旦乾燥させる、房総方式は採取したひじきをそのまま加熱して干す。ここ和田漁港ではひじきをオレンジとともに炊いてから干すそうだ。採れたてのひじきを丹念により分ける作業を見物した。



楽しそうに会話をしながら作業



乾燥中のひじきを試食させていただいた。



和田漁港を歩く一行

10時10分 和田白渚海岸



サーファーを観ている？



和田サーフ橋を渡る



サーファーのバイクにはボード用の荷台
11時20分 道の駅ローズマリー公園



「北緯 35 度最東端」の珍しい標識



ローズマリーの里は街路樹もローズマリーで埋まっている。ここでショートカットして一足先に千倉駅へ向かう尾崎さんと稲葉さん達と別れた。



海鮮市場でお買い物

13:40 ゴールの千倉駅に到着し、無事に房総短期歩行を終了した。



千倉駅到着



駅前の食堂で打ち上げ

歩行ルート図



以上